

「ちえのわ」は熊本市社会福祉協議会 中央区事務所の手作り情報誌です♪ (2018 No47)

住民主体の生活支援サービス実施に向けたモデル事業:碩台で始動!

(熊本市社会福祉協議会 中央区事務所主催 碩台校区・ささえりあ浄行寺共催)

地域住民の力を活かした、新たな支え手による生活支援の互助の仕組み創出を目的とした熊本市社協 中央区事務所が提案する生活支援サービスのモデル事業が碩台で始まりました。

生活支援サービスとは、日常の一寸した困り事(ごみ出しや買物等)を抱えている高齢者が地域で安心して暮らせるように、住民(ボランティア)の支援により、有償で支えあう「住民主体の支えあい活動」です。29/12/19 賛同頂いた方を対象に、子飼商店街「よってこかい」で協力会員養成研修会を実施し、林社協・民児協会会長はじめ8名の協力会員が誕生しました(📷左)。

また30/1/23に、地域の高齢者に対し事業説明を行い2名の利用会員の登録を頂きました。そして2/4 記念すべき第1回目の生活支援サービス! 利用会員の西本さんが、協力会員の池田17町内自治会長に買物代行を依頼、池田会長がティッシュと灯油ポンプを自宅に届けました(📷右)。

西本さんは普段は近くの上通アーケード街や子飼商店街に買物に行くことがありますが、愛用の手押し車では、大きな買物ができず困っていたそうです。近くに住む池田会長とは元々顔なじみでしたが、今回の新たなモデル事業によって、「顔なじみでも遠慮して頼みづらかった事が今回の仕組みで頼みやすくなった。」とニッコリ♪「高齢者や体が不自由な世帯には非常に助かる仕組みですね。」と、今後のモデル事業の展開に期待を寄せられていました!

モデル事業は今年度いっぱい碩台で続け、事業の中で得られた利用者ニーズや課題などをまとめ次年度以降の市全域での実施に向けた制度設計を進めていく予定です。

📷 林会長

12/19 養成研修

よってこかい

西本さん

2/4 買物代行! 助かりました~



お願い: 地域包括ケアシステムの要です!
今後、高齢者や子供、障がいのある方も誰もが住み慣れた地域の住まいで自立した生活できる体制を作るには(左イラスト)さらに住民同士で(赤○部分)で主体的に近隣や地域をお互いに支えあう活動(互助)が重要となります。今回の碩台モデル事業はその要(かなめ)です。皆様のご理解とご協力よろしくお願い致します。

熊本市社会福祉協議会 中央区事務所♪

※地域包括ケアシステムは、概ね、中学校区単位として想定